

- 医薬品の適正使用に欠かせない情報です。必ずお読み下さい。 -

「使用上の注意」等改訂のお知らせ

持効性抗ウイルス化学療法剤〔非ヌクレオシド系逆転写酵素阻害剤（NNRTI）〕

リカムビス®水懸筋注600mg

リカムビス®水懸筋注900mg

（一般名：リルピビリン持効性懸濁注射液）

2024 年 11 月

製造販売元 ヤンセンファーマ株式会社

提携先 ヴィーブヘルスケア株式会社

提携先（プロモーション提携）塩野義製薬株式会社

この度、標記製品の「使用上の注意」等を一部改訂致しましたので、お知らせ申し上げます。
今後のご使用に際しましては、下記の改訂部分にご留意の上、改訂電子添文をご参照下さいますようお願い申し上げます。

【改訂内容】

自主改訂

部：追記箇所

改 訂 後	改 訂 前
14. 適用上の注意 14.1 薬剤調製時の注意 14.1.1 投与前に薬剤を常温（25℃以下）に戻し、6時間以内に使用すること。 <u>再冷蔵した場合の安定性は確認されていない。</u> 14.1.2 <略> 14.1.3 シリンジに採取後、ただちに使用しない場合は、 <u>常温（25℃以下）</u> で保存し、2時間以内に使用すること。2時間を超えて放置した場合は、廃棄すること。	14. 適用上の注意 14.1 薬剤調製時の注意 14.1.1 投与前に薬剤を常温（25℃以下）に戻し、6時間以内に使用すること。 14.1.2 <略> 14.1.3 シリンジに採取後、ただちに使用しない場合は、25℃以下で保存し、2時間以内に使用すること。2時間を超えて放置した場合は、廃棄すること。

《今回の「使用上の注意」等の改訂内容につきましては、医薬品安全対策情報（Drug Safety Update）No.331（2024 年 12 月発行）に掲載される予定です。》

【改訂理由】

自主改訂

14. 適用上の注意

本剤を常温へ戻した後の再冷蔵の可否について問い合わせを受けたことから、再冷蔵した場合の安定性が確認されていない旨の情報提供が必要と考え、電子添文に追記することとしました。

※「16. 薬物動態」の項も改訂していますので、電子添文をご参照ください。

最新電子添文情報は医薬品医療機器総合機構情報提供ホームページ（<https://www.pmda.go.jp/>）に掲載されていますので、あわせてご利用ください。

また、下記バーコードを「添文ナビ®」で読み取ることで、電子添文及び関連文書を閲覧いただけます。

GS1

リカムビス水懸筋注 600mg



(01)14987246787021

リカムビス水懸筋注 900mg



(01)14987246787014

PI-13801-D2411N

RK-G-2(B1)